

若手研究・研究支援人材雇用・育成プロジェクト

平成21年度補正予算案：21億円
平成20年度2次補正：10億円

事業の目的

博士号取得者の無業者は約4割と指摘されており、正規就業できていないとされる学部・修士課程を卒業した人材も多数いる。

若年研究人材（ポスドク等）、研究支援人材を育成、研究管理人材を再教育し、正規就業を支援することは、我が国の有する人材の底力を有効に引き出すことで我が国の経済成長に資するものである。

事業の内容

産業技術総合研究所のイノベーションを担う人材の育成機能を活用し、産業技術総合研究所において、研究人材（ポスドク等）、研究支援人材、研究管理人材、企業から離職、休職した研究者、技術者を研究員等として雇用。

同研究所と提携する800社を超える企業との共同研究プロジェクトへの従事を含む、育成、再教育を行うことで、就業を支援。

実施体制



事業イメージ

